

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-520669(P2008-520669A)

【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-543135(P2007-543135)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/555 (2006.01)

A 6 1 K 31/785 (2006.01)

A 6 1 K 31/295 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 41/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/7135 (2006.01)

A 6 1 P 5/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/555

A 6 1 K 31/785

A 6 1 K 31/295

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 41/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 3/12

A 6 1 K 31/7135

A 6 1 P 5/00

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月10日(2008.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鉄キレート剤をヒトに投与するステップを含む、エリスロポエチン抵抗性症状を有するヒトを治療するための鉄キレート剤。

【請求項2】

前記ヒトが炎症を有する請求項1に記載の鉄キレート剤。

【請求項 3】

前記鉄キレート剤が、前記鉄キレート剤の前記ヒトへの投与後の前記ヒトにおける炎症を低減するのに十分な量で投与される請求項 2 に記載の鉄キレート剤。

【請求項 4】

前記炎症が全身性炎症である請求項 2 に記載の鉄キレート剤。

【請求項 5】

前記炎症が炎症に対する急性期応答である請求項 2 に記載の鉄キレート剤。

【請求項 6】

前記ヒトから採取された血液試料中で C - 反応性タンパク質、インターロイキン - 6、腫瘍壊死因子 - 、アミロイド A、フェリチン、フィブリノーゲン、 1 - 抗トリプシンおよびハプトグロビンからなる群から選択される少なくとも 1 つのメンバーを測定するステップをさらに含む請求項 5 に記載の鉄キレート剤。

【請求項 7】

前記鉄キレート剤が約 10 mg / kg ~ 約 150 mg / kg の用量で投与される請求項 1 に記載の鉄キレート剤。